

秋ヶ瀬公園自然体験プログラム2026～こども自然探検隊～

びっくり どっきりがいっぱいの森を森林インストラクターといっしょに探検しよう！

主催：公益財団法人 埼玉県公園緑地協会 秋ヶ瀬公園管理事務所

運営：埼玉森林インストラクター会

日時：2026年5月9日（土） 9：30～14：00

会場：秋ヶ瀬公園ピクニックの森

天候：晴れ

指導者：久保雅春、関谷由紀子、豊福 匠、廣川妙子、藤井庸図

見学：大木義之

参加者：31名（小学生11名、未就学者6名、保護者14名）

報告者：藤井庸図

<オープニング>

主催者の挨拶、運営チームの紹介を行い、オリエンテーション、準備体操を実施後班分けを行いピクニックの森での自然観察をスタートした。

<自然観察、生きもの採集、「森のビンゴ」>（指導：久保、廣川）

秋ヶ瀬公園ピクニックの森で自然観察と生き物採集を行った。参加人員の関係で2班に分かれて実施。こちらから説明をする形だけではなく、子どもたちに自分から進んで主体的に自然観察をしてもらうため、「黄色」とか「ギザギザ」とか「良い匂い」等のキーワードを記した升目を使ったビンゴ用紙を配り、自分で発見すればその升目に印をしていきビンゴを目指すゲーム式の自然観察の方法をとった。子供たちは嬉々として対象物を探し、対象物を見つけると目を輝かせて指導担当の所に飛んでいき、升目に印を貰っていた。子供たちが1つでも印象的で、五感で感じる自然体験をしてくれたら大きな喜びである。

また、生き物採集に夢中になる子供も多く、どんな生き物にも興味をもって採集にいそしんでおり、これもまた印象的な自然観察であったなら、と思う。

<ネイチャーゲーム：「カモフラージュ」>（指導：関谷、豊福）

ピクニックの森の一面を使い、小学生組と小学生未満の組に分け、ネイチャーゲームの1つである「カモフラージュ」を行った。人工物（造花、人形、昆虫、葉など）を林床の上に置き、各自がその数を指導担当に報告し、全部探しあてるまで何度も行う方法とした。時間制限を設けたので全部探しあてたのは数人に留まったが、後半は保護者も参加し、おおいに賑やかに盛り上がった。自然を観察する力がつけばしめたものである

<「ロープワーク」の実習>（指導：廣川）

実際に役に立つ技術も習得してほしい、ということで「ロープワーク」の実習を行った。各自に紐を渡し指導担当のもと、「本結び」と「てぐす結び」を体験して貰った。

結び方を説明して実際にやってもらうのは大人でも難しいところであり、中・低学年や小学生未満の子供が辛抱強くやれるのか少々危惧していたが、結構な数の子供たちが興味をもって取り組んでおり、有意義は活動となった。

<解散>

最後に参加者にアンケートを書いて頂き、その後解散とした。

——オープニング——



準備体操

——自然観察——



ビンゴゲーム式なので各自探しながら進んでいく

——自然観察——



子供たちは集まったり離れたたり

——昼食——



広場でシートを敷いて昼食

——カモフラージュ——



説明をする指導担当



説明を真剣に聞く子供達



指導担当に見つけた数を報告

——ロープワーク——



指導担当の説明を聞く子供達



質問をする子供